

**スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校及び理数科設置校合同発表会が行われました。**  
(担当課：高校教育課)

文部科学省からSSHの指定を受けている4校(仙台第一高等学校、仙台第三高等学校、多賀城高等学校、古川黎明中学校・高等学校)と、理数科を設置している宮城第一高等学校及び仙台南高等学校は、各校で行っている探究活動の成果を広く県民に向けて発表する合同発表会を開催しました。

【概要】

- 日 時 令和5年7月2日(日) 午前10時10分から午後2時30分まで
- 場 所 スリーエム仙台市科学館(3階エントランス, 2階第1・第3・第4実験室)
- 内 容 スリーエム仙台市科学館の来場者に向けて、ポスター発表や科学実験教室を行った。



**デラウェア州ドーバー高校の生徒等が教育長を表敬訪問されました。**

(担当課：高校教育課)

角田高等学校の姉妹校として交流を続けているアメリカ合衆国デラウェア州のドーバー高校の短期研修生徒の来県に合わせ、両校及び両県・州の親交をより一層深めるため、同校生徒及び副校長等が教育長を表敬訪問されました。

【概要】

- 日 時 令和5年7月3日(月) 午前10時から午前10時30分まで
- 場 所 宮城県行政庁舎 16階 教育委員会会議室
- 来 庁 者  
 ドーバー高校 生徒 レニー・ズァング さん  
 副校長 ロジャー・ル・ブランク さん  
 デラウェア州コーディネーター ミキ・スミス さん  
 角田高等学校 校長 井上 健一  
 教諭 阿部 さおり



**特別展「古墳をつくる人びと ―はにわ工人、ハジベ君！―」の開幕式を開催しました。**  
(担当課：文化財課)

東北歴史博物館において、7月15日から9月24日までの日程で開催している、令和5年度夏季特別展「古墳をつくる人びと―はにわ工人、ハジベ君！―」の開幕式を行いました。

本展示では、埴輪工人集団の一人を主人公とした物語形式で展開し、主人公である「ハジベ君」の成長を描きながら、長い年月をかけて古墳が作られていく様子を紹介しています。

**【概要】**

- 日 時 令和5年7月15日(土) 午前9時から午前9時30分まで
- 会 場 東北歴史博物館1階エントランスホール
- 展示概要 埴輪や副葬品などの実物資料のほか、イラストや写真、ジオラマなどの展示とともに特に子どもたちが理解しやすいよう、分かりやすい解説となっており、主人公の「ハジベ君」とともに、楽しく学ぶことができます。

3



**東日本大震災みやぎ子ども育英募金への寄附の贈呈式が行われました。**

(担当課：総務課)

熱海建設株式会社様から、東日本大震災により親を亡くされた子どもたち等への支援として御寄附をいただき、その目録の贈呈式が行われました。

**【概要】**

- 日 時 令和5年7月20日(木) 午前11時から午前11時15分まで
- 場 所 宮城県行政庁舎16階 教育委員室
- 来 庁 者 熱海建設株式会社 専務取締役 内海 泰彦 様

4



## 令和5年度第39回学習デジタル教材コンクール「文部科学大臣賞」受賞について

宮城県総合教育センターにおいて、令和4年度長期研修専門研究の研究領域「教育の情報化」で作成した学習支援 Web サイトが「第39回学習デジタル教材コンクール」において最高賞である「文部科学大臣賞」を受賞した。

### 1 背景

GIGAスクール構想では、ICTを活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が求められている。そのためには、教員がICTを指導に生かし、児童生徒が主体的に活用して学習を進めていくことが重要である。令和4年度の総合教育センター長期研修専門研究では、児童生徒の主体性に応じた学習を展開するために、学習支援 Web サイト「With タブレ」を作成し、その活用を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」への実現を目指すものである。

### 2 学習デジタル教材コンクール

(1) 主催者等 主催：公益財団法人学習情報研究センター 後援：文部科学省

(2) 事業の概要

学校教育におけるデジタル機器の活用を促進するため、教員その他の教育関係者・団体が作成したデジタル教材を募集し、表彰する事業。

デジタル機器の活用と教育の情報化の進展に貢献することを目的として、優れた作品を広く教育関係者に紹介し、相互利用できるよう情報提供している。

(3) 表彰の種類

文部科学大臣賞、学情研賞、日本児童教育振興財団賞 ほか

### 3 Web サイトを開発した専門研究の概要 ※所属・職名は令和4年度当時のもの

(1) 研究領域 教育の情報化

(2) 研究主題等 ICTを活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す学習活動の推進  
ー学習支援 Web サイト「With タブレ」の作成とその活用を通してー

(3) 専門研究員 (情報教育研究グループ)

白石市立白川小学校	教諭	齋藤 裕直
山元町立山下小学校	教諭	原 健一郎
東松島市立大曲小学校	教諭	小野寺 陽
宮城県亘理高等学校	教諭	鈴木 寛之

(4) 指導主事 (情報教育班)

主幹 戸羽 賢一、主幹 遊佐 賢、主幹 本郷 直哉

## 4 その他

### (1) 表彰式

令和5年7月28日（金）

アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）で開催

### (2) 同コンクール受賞履歴

- ・「文部科学大臣賞」（5年連続6回目）

平成28年 「+タブレ」

令和 元年 「プログラミング教育校内研修ナビ」

令和 2年 「+タブレ2.0」

令和 3年 「+タブレ・マネージャー」

令和 4年 「#60秒情報モラル」

令和 5年 「Withタブレ」

- ・「学情研賞」（第2位に相当）

平成27年 「今日の授業タブッ ciao!」

平成29年 「みやぎSNSナビゲーション」

平成30年 「プログラミング教育スタートパック」

### (3) 普及、広報

本学習支援 Web サイトが県内の各学校における授業や校内研修で活用され、児童生徒の学びの自己決定、児童生徒同士で協力する学習活動の一助となるよう、研修会での紹介、ホームページへの掲載、情報教育チャンネルサイト「MナビTV」等で積極的な広報・普及を行っていく。

# 個別最適な学びと協働的な学びを Withタブレがサポート

- どんな課題を設定しようかな…
- インターネットでアンケートをして意見が聞きたい
- タブレットで共同編集がしたい
- グラフでまとめるには…
- 地域の方からも話を聞きたい
- 情報を発信したい

一人一人に合った学びをさせたい！  
 どのように指導すればいいのだろう？



児童生徒の主体性に  
 応じた学習方法は多様

個別最適な学び・協働的な学びを  
 進めるための手立てが必要



## その問題、Withタブレが解決します！

**児童生徒の主体性に  
 対応できる**

- 児童生徒自身で  
 学習方法を選べる

**学習方法を視覚的に  
 理解できる**

- 文章やイラスト、  
 短い動画で分かる

**先生の授業づくりを  
 サポートできる**

- ICTを活用した授業  
 のヒントが得られる



Withタブレには色々な  
 学習方法が載ってるね。

タブレットを使って意見を  
 共有してみよう。

自分のやりたい方法で  
 まとめることができた！



令和5年3月公開

## 夏休み前までの学校安全・防災の取組について

保健体育安全課

## 1 みやぎ安全教育総合推進ネットワーク会議の開催

東日本大震災の厳しい教訓を踏まえ「みやぎ学校安全基本指針」を基にした、安全教育の推進が図られるよう、取組上の課題や方策等について協議・検討し、学校と地域の連携した取組が円滑に実施できるよう関係機関相互の情報共有を図る。

○期日：令和5年4月26日（水）

○参集：関係機関代表、教育事務所長、関係各課長



## 2 学校安全指導者研修会「生活安全（防犯）」の開催

児童生徒が自ら危険を回避する力等の資質や能力の育成を目指し、教員の指導力の向上を図ることにより、各校における安全教育の充実に資する。

○期日：令和5年5月31日（水）岩沼市民会館 教職員540名参加

○内容：不審者対応訓練実践発表、不審者対応に係る講義（県警本部、仙台大学准教授）



## 3 学校施設等安全点検講習会の開催

教職員に対し、学校施設・設備の点検を行う際のポイントや問題があった場合の対応等を講義・フィールドワークにより学び、教職員が行う安全点検の取組意識及び技術の向上を図る。

○期日：令和5年7月26日（水）岩沼西小学校

8月7日（月） 涌谷高等学校



## 4 県立学校避難訓練訪問指導

各学校が実施する、地震をはじめとした災害特性に応じた避難訓練を参観し、学校防災体制の充実にに向けた意見交換等を行う。

○7月までの訪問校：利府支援富谷校、仙台南高、伊具高、聴覚支援学校、大河原商業高

## 5 学校安全・防災だよりの発行

各学校において、安全・防災教育や職員研修等の取組を進める際の参考となるよう、県内の学校の先進事例や、最新の学校安全の情報を発信する。

○第1号：自転車乗車時の「頭部を守るヘルメットの着用」について 他

○第2号：熱中症への注意喚起、東日本大震災の記憶と教訓 他

○第3号：地域ぐるみの学校防災体制の構築、防災や普段の生活に役立つ気象情報 他

○第4号：学校安全教育指導者研修会の開催、水害から身を守るカリキュラムの支援 他

○第5号：圏域別ネットワーク会議の開催、熱中症に注意 他

○第6号：気象情報特集、防犯の専門家派遣 他

（引き続き発行を継続）